

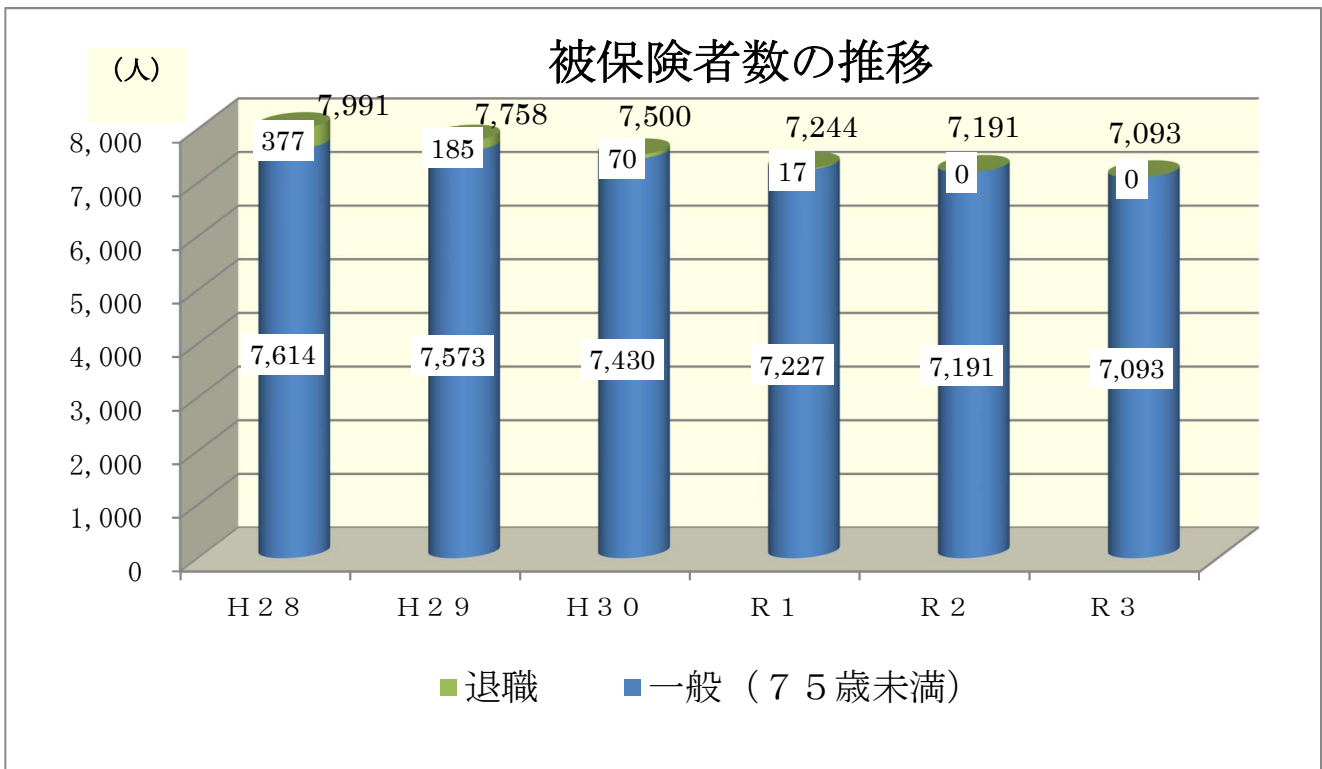
# 黒部市国民健康保険の財政状況（令和3年度決算）

## はじめに

黒部市国民健康保険の財政状況について、平成28年度から令和3年度までの特別会計の決算データを用いて、その概要をお知らせします。

### 1 被保険者数の推移

被保険者数は、若年人口の減、後期高齢者医療制度移行者の増、社会保険の適用拡大などにより年々減少しています。また、退職被保険者は、平成24年に制度廃止されておりますが、経過措置として平成26年までの間における65歳未満の退職者について存続しており、65歳に到達した時点で一般被保険者になるため減少しており、令和2年度以降より本市に該当者はおりません。



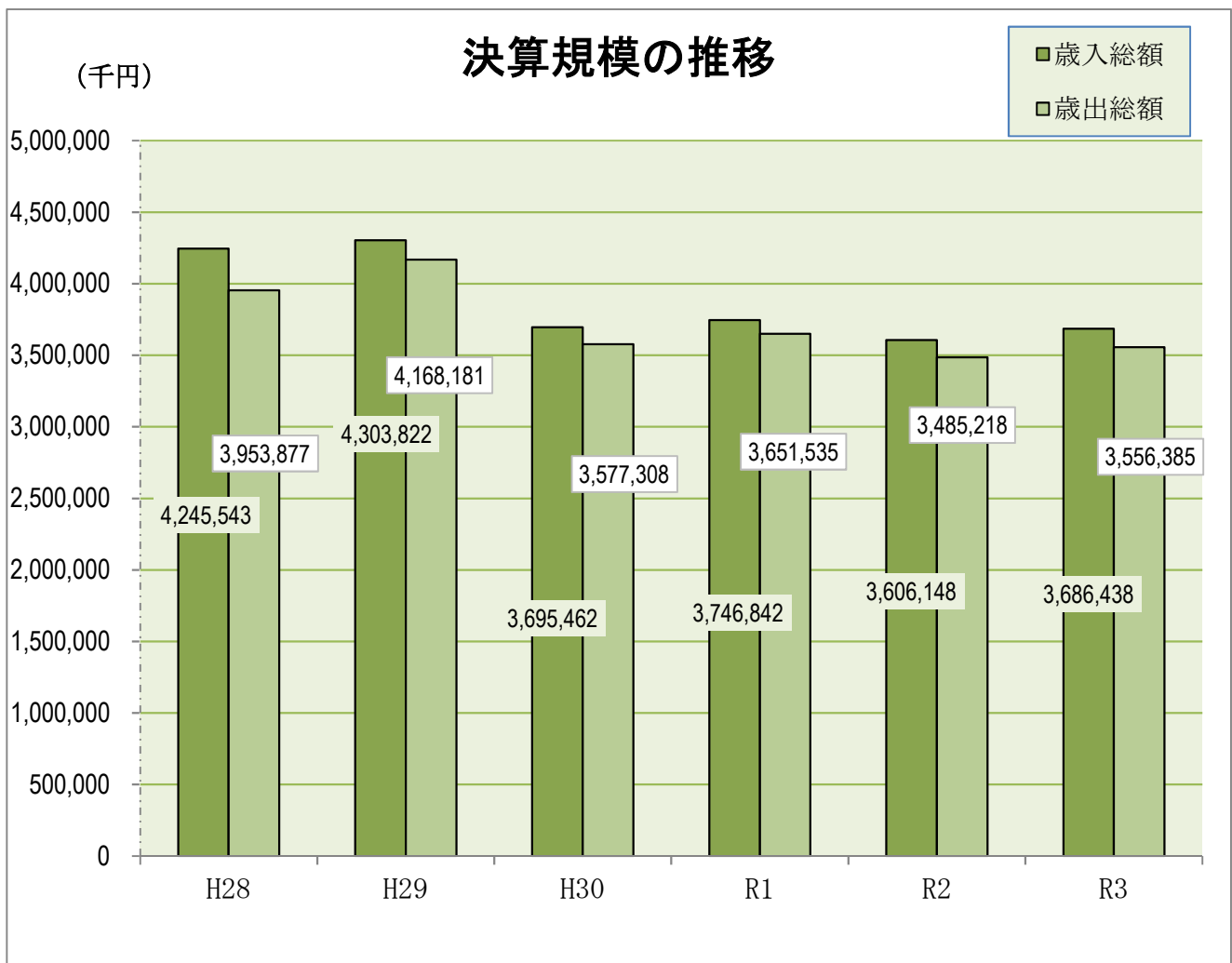
(単位：人)

区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3
一般(75歳未満)	7,614	7,573	7,430	7,227	7,191	7,093
退職	377	185	70	17	0	0
合計	7,991	7,758	7,500	7,244	7,191	7,093
前年度比	△347	△233	△258	△256	△53	△98

※各年度平均被保険者数 (国民健康保険月報より)

## 2 決算収支の推移

平成30年度から新制度が導入され、県が市町村とともに保険者として国民健康保険事業の運営を担うこととなりました。そのうえで、県は財政責任の主体となり、市は県が決定した事業費納付金を納付し、県は市に保険給付に必要な費用を全額交付します。このため、平成30年度から予算の構造が大きく変更となり、歳入歳出ともに下がっています。



収支の状況

(単位：千円)

区 分	H28	H29	H30	R1	R2	R3
歳入総額 A	4,245,543	4,303,822	3,695,462	3,746,842	3,606,148	3,686,438
(Aのうち基金繰入金) ①	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
歳出総額 B	3,953,877	4,168,181	3,577,308	3,651,535	3,485,218	3,556,385
(Bのうち基金積立金) ②	(0)	(240,000)	(47)	(71)	(35)	(5)
実質収支 (A-B) ③	291,666	135,641	118,154	95,307	120,930	130,053
単年度収支 (※)	39,629	83,975	△17,440	△22,776	25,658	9,128

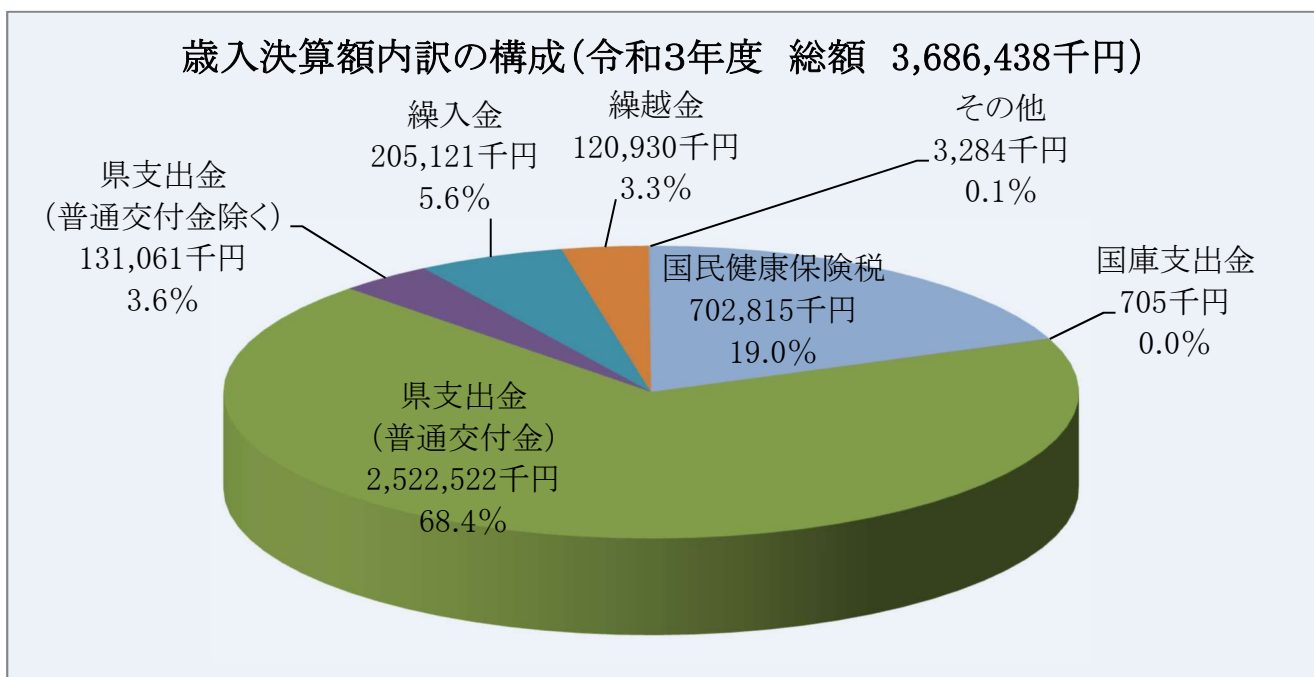
(※) (A-①-前年度③) - (B-②)

### 3 歳入決算額内訳の構成

令和3年度の歳入は、県支出金（普通交付金）が全体の68.4%を占めており、主なものは、医療費等の保険給付に必要な費用で県から全額交付されています。保険給付費については、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により減少しておりましたが、令和3年度は回復傾向にあります。

国民健康保険税は、全体の19.0%で、その内訳は医療分（基礎課税分）が保険税全体の約7割を占めており、ついで後期高齢者支援金分が約2割となっています。被保険者数の減少等により、保険税の総額は年々減少している状況です。

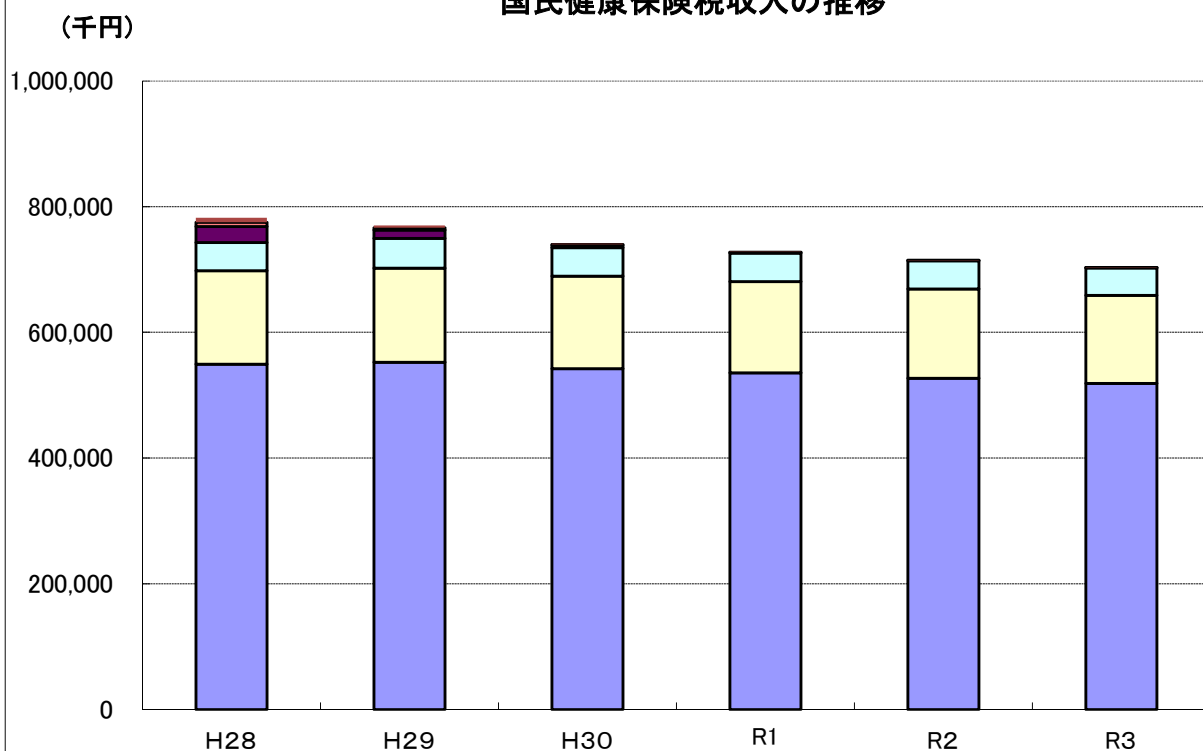
また、繰入金は全体の5.6%で、国保の財政基盤の安定等のために一般会計から繰入れており、繰入れに要する経費の大半は一般会計において地方交付税措置が講じられています。主なものとなる保険基盤安定制度に係る繰入金は、国民健康保険が構造的に低所得者の加入割合が高く、他の被保険者の保険料負担が相対的に重いものとなっていることから、低所得者の税軽減相当額を公費で補填されるものであります。



(単位:千円)

区 分	R1	R2	R3
国民健康保険税	727,643	714,174	702,815
国庫支出金	1,900	5,185	705
県支出金(普通交付金)	2,607,553	2,486,235	2,522,522
県支出金(普通交付金除く)	85,460	96,025	131,061
繰入金	197,925	198,255	205,121
繰越金	118,154	95,307	120,930
その他	8,207	10,967	3,284
計	3,746,842	3,606,148	3,686,438

### 国民健康保険税収入の推移



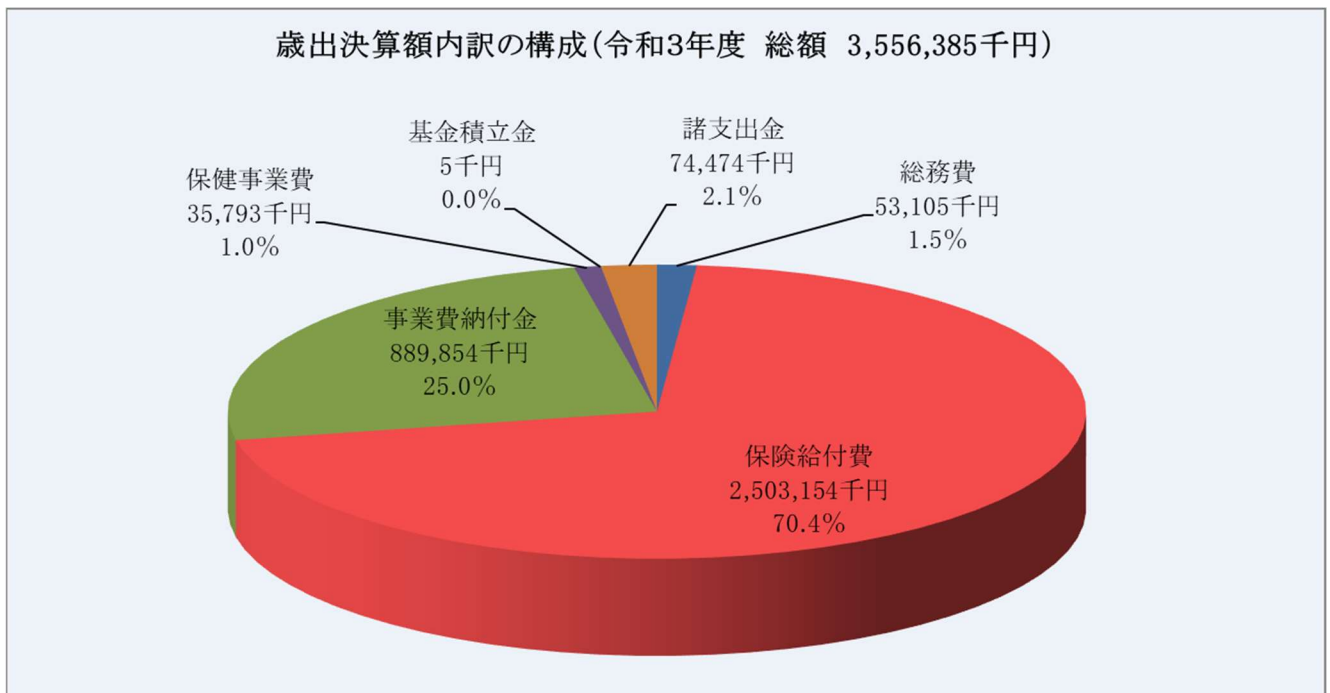
■退職介護分 ■退職後期分 ■退職医療分 □一般介護分 □一般後期分 □一般医療分

(単位:千円)

区分		H28	H29	H30	R1	R2	R3
医療分	一般	549,256	552,338	541,992	535,392	526,821	518,671
	退職	25,514	13,182	3,947	1,224	229	24
	計	574,770	565,520	545,939	536,616	527,050	518,695
後期高齢者支援金分	一般	148,978	149,941	147,592	145,115	142,347	140,281
	退職	6,840	3,574	1,097	298	48	6
	計	155,818	153,515	148,689	145,413	142,395	140,287
介護納付金分	一般	44,373	47,223	45,077	45,282	44,678	43,827
	退職	7,184	3,648	1,143	332	51	6
	計	51,557	50,871	46,220	45,614	44,729	43,833
計	一般	742,607	749,502	734,661	725,789	713,846	702,779
	退職	39,538	20,404	6,187	1,854	328	36
	計	782,145	769,906	740,848	727,643	714,174	702,815

#### 4 歳出決算額内訳の構成

令和3年度の歳出は、保険給付費が全体の70.4%、県が市町村ごとに決定した事業費納付金が25.0%、合わせて95.4%と歳出の大半を占めています。



(単位：千円)

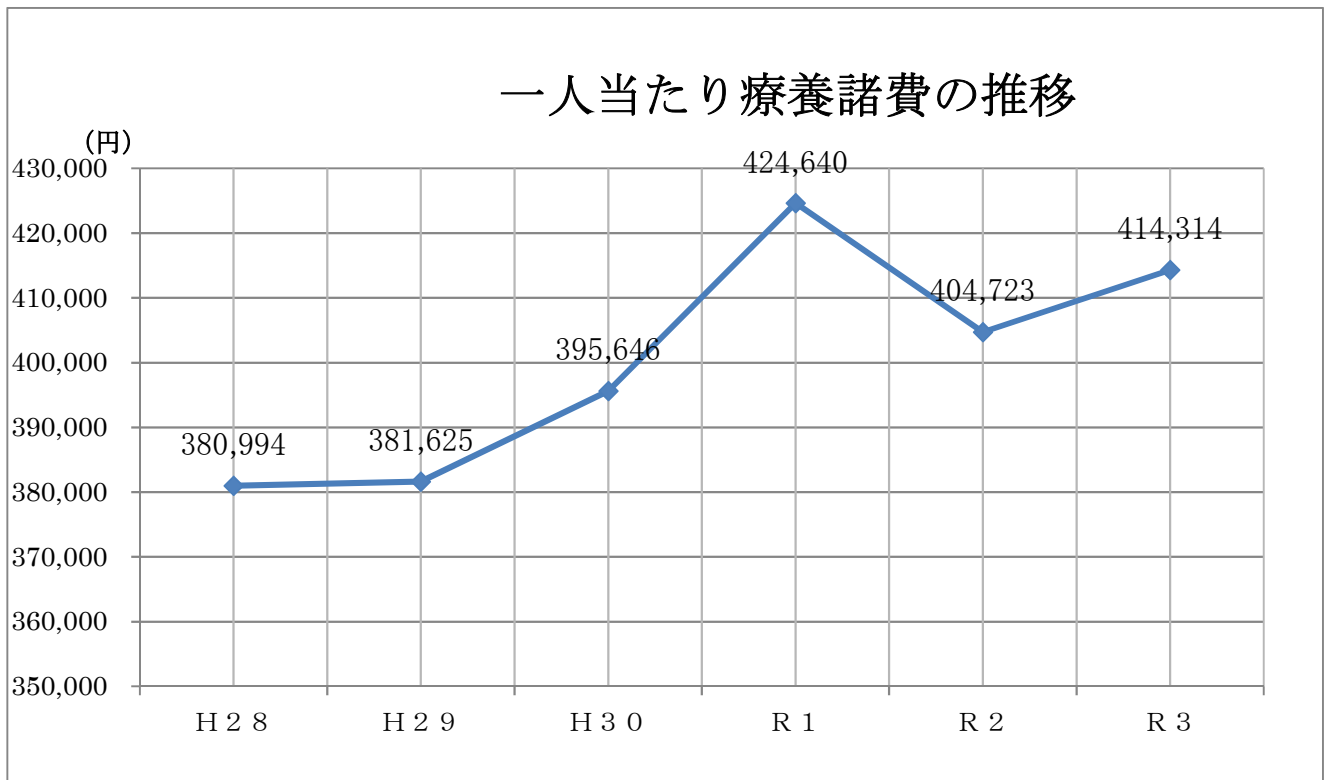
区 分	H28	H29	H30	R1	R2	R3
総 務 費	46,301	59,018	56,470	54,666	56,195	53,105
保険給付費	2,550,857	2,498,102	2,513,762	2,611,292	2,491,456	2,503,154
事業費納付金	-	-	876,078	910,718	868,669	889,854
(医療給付費分)	-	-	(588,172)	(610,451)	(577,475)	(593,030)
(後期高齢者支援金等分)	-	-	(222,132)	(231,972)	(222,394)	(227,166)
(介護納付金分)	-	-	(65,774)	(68,295)	(68,800)	(69,658)
保健事業費	41,874	45,122	43,595	43,155	35,815	35,793
基金積立金	-	240,000	47	71	35	5
諸支出金	22,264	44,159	87,356	31,633	33,048	74,474
後期高齢者支援金	433,420	432,493	-	-	-	-
前期高齢者納付金	314	1,565	-	-	-	-
老人保健拠出金	15	9	-	-	-	-
介護納付金	133,242	136,928	-	-	-	-
共同事業拠出金	725,590	710,785	-	-	-	-
計	3,953,877	4,168,181	3,577,308	3,651,535	3,485,218	3,556,385

※保険給付費とは、疾病及び負傷に対する給付、出産、死亡に対する給付の費用。

※事業費納付金とは、県が国保財政の「入り」と「出」を管理し、市町村ごとに医療費水準や所得水準を考慮し決定した納付金。

## 5 一人当たりの療養諸費の推移

被保険者の高齢化、医療技術の高度化などにより、一人当たりの療養諸費については、令和元年度まで増加傾向にありました。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大による受診控え等により減額となっていました。令和3年度はやや回復傾向にあります。



(単位：円)

区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3
一般	378,111	380,266	395,437	424,586	404,723	414,314
退職	439,222	437,282	417,886	447,457	—	—
全体	380,994	381,625	395,646	424,640	404,723	414,314

※療養諸費とは、黒部市国民健康保険負担分と自己負担金及び公費負担金を合算した医療費